

# 『明日はきっと良い日になる』 寸評

- ・後半の伸びやかな展開がとてもこのましい
- ・線的にも和声的にも満足のいく吟味をした跡がみられる
- ・やや散文的なタイトル 意味はよくわかる
- ・さらに強い確信とともに音楽を打ち出したい
- ・たとえばVa.にも積極的な役割をあたえたい

完成度をさらに上げるために

- ・m.1-4 のVa.を工夫してVn.がよりくっきりときこえるように

参考例 

- ・m.2-3, 6-7, 7-8 Vn.の増4度、長7度、減5度はメロディにはさげたい
- ・m.6-7 Va.の増4度もなるべく回避したい——悪い意味で器楽的にきこえる
- ・m.9-12 Va.にも役割交替してメロディをとらせたらどうだろう

参考例 

- ・m.13-15 シンコペーションも基本拍が確認できるように記譜しよう



- ・各4小節ごとの動機を反復するのに固執しているようだ
- ・全16小節を通じて統合的かつ柔軟な流れの形成がめざされるとなおよい
- ・可能な範囲でいいのでスラーをつけよう

m.=measure 小節番号のことです。  
b.=beat 拍のことです。

より楽器の映える工夫を全方面で追求しよう  
持庵 勉